陳　情　文　書　表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第257号（８．11．18） 高倉台保育所再編時期の見直しに関する陳情
陳情の要旨	１.現在在園している子供たちが慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できるよう、2028年４月からの運営主体変更時期を延期・中止も含めて慎重に再検討すること。 ２.保護者の疑問や不安が解消されるよう、十分な説明と継続的な協議の機会を設け、保護者から寄せられた意見や要望を今後の計画にどのように反映するのか、具体的に示すこと。 ３.民間移管となる場合には、保育料以外の費用負担についても現在と同等程度の水準を維持できるよう、市としての具体的な支援策を明らかにすること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市須磨区 正木　寛子
送付委員会	教育こども委員会

2026年　11月　18日

神戸市会議長　様

（住所）　神戸市須磨区
（氏名）　正木　寛子

高倉台保育所再編時期の見直しに関する陳情

【陳情趣旨】

高倉台保育所について、2028年4月から民間事業者による運営へ移行する方針が示されています。私たちは、施設の老朽化への対応や保育環境の見直しが必要であることは十分に理解しております。

しかし、現在の在園児にとって慣れ親しんだ保育士や友達、日々の生活環境は安心して園生活を送るために欠かせないものです。神戸市の「神戸っ子すこやかプラン2029」では、すべてのこどもが健やかに自分らしく成長でき、誰もが安心してこどもを生み育てることができるよう、切れ目のない総合的なこども・子育て支援を推進することが基本的な方向性として掲げられています。こうした方針に沿い、今回の再編についても子どもたちや保護者が安心して生活できるよう、十分に配慮し慎重に進めていく必要があると考えます。

これまで保護者からは、移行時期や保育環境、費用負担などについて多くの疑問や不安の声があがっています。市は保護者説明会を開催しましたが、日程周知が急であったため参加できなかった保護者もおり、次回説明会の日程も未定のままです。また、保育環境や費用負担など、具体的な内容が十分に明らかになっていない事項も残されています。そして、他の保育施設の民間移管と比較しても、事業者選定から移行までの準備期間が短く、保護者が十分に情報を得て判断するための時間が確保されているとは言えません。

説明会開催や質問への回答だけでは、保護者の不安や不信感は解消されません。保護者の声を今後の計画にどのように反映するのかを明確にし、十分な情報提供と継続的な協議を行うことが必要です。

私たちは、現在の在園児が慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できることを望んでいます。そのため、在園児が卒園するまでの施設存続を含め、再編時期を改めて慎重に検討していただきたいと考えます。

以上の理由から、以下の事項について陳情いたします。

【陳情事項】

1．現在在園している子どもたちが慣れ親しんだ高倉台保育所で安心して卒園できるよう、2028年4月からの運営主体変更時期を延期・中止も含めて慎重に再検討してください。
2．保護者の疑問や不安が解消されるよう、十分な説明と継続的な協議の機会を設け、保護者から寄せられた意見や要望を今後の計画にどのように反映するのか、具体的に示してください。
3．民間移管となる場合には、保育料以外の費用負担についても現在と同等程度の水準を維持できるよう、市としての具体的な支援策を明らかにしてください。

以上